

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	湘南国際アフタースクール久里浜		
○保護者評価実施期間	2025/12/1		～ 2026/2/20 (再掲期間含む)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025/12/1		～ 2026/1/16
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025/12/1		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備 こどもの活動スペースが十分に確保されており、わかりやすく構造化されている。また、生活空間は清潔で心地よく過ごせる空間となっている。障害特性に応じて、情報伝達等の配所がされている。	・新型コロナウイルス蔓延以降、清掃の質があがった。各所細かいところまで消毒や清掃が行き届いている。 ・2つの号室を貫通させて1つにしているため十分広い空間を確保できている。	・空間は十分に確保されているので内部のレイアウトに手を加えていきたい。(チラシ等案内置き場等)
2	適切な支援の提供・情報共有スタッフの連携 ニーズや課題を客観的に分析し、個別支援計画を作成。それに沿った支援を実施。また、こどものことを十分に理解し、子供の特性に応じた支援・対応を行っている。それらの情報を速やかに業務日誌で共有、月例会議や業務前の打ち合わせ等で連携。	・情報共有のために業務日誌を設けている。出欠席から些細な細かい情報、特性による注意点まで記してある。これを月例会議や業務前の打ち合わせにも使用し、情報共有漏れがないよう務めている。 ・情報共有のために各スタッフのメモ入れを作成、設置している。	・各利用者ごとに滞在時間や出欠席、その日に取り組んだ内容を記入するファイルがあるが、その中身を充実させていきたい。より項目を細分化しより記入しやすく、わかりやすくしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	周知の徹底 あらゆるアンケート、提出物、あるいは実施していること等周知がいきわたっていない。各イベント等月に1度はお知らせを送付している。	・こまめに行っていない。 ・再掲期間がない。(ただし十分期間は元々確保してある。)	・再掲期間を設ける。保護者送迎時等そのたび細かく周知していく。 ・必要ならば利用者自身に手紙を持たせる等あらゆる方法を模索、こまめに周知を行っていく。
2			
3			